

道路建設工事業における墜落・転落災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017 年 発生 月	時間	死傷災害発生事例	年 齢	労 働 者 規 模
1	17～ 18	作業が終了して、両手にチェーンソーと道具箱を持ち、山の斜面を歩いて降りるとき、長靴を履いていて、落ち葉の上で足元が滑り、両手がふさがっていたため、手を突くことが出来ず、斜面を10mほど滑落し、最後に高さ4mの岩の上から舗装道路の上に左肩から転落した。	69	—
1	13～ 14	工事の現場で、側溝用コンクリート製品をエンジンカッターで切断中、体位を変更した際に切断片に足を置いたため、コンクリート片の崩壊が発生し、高さ1mからバランスを崩し転落した。転落時に左足首がコンクリート製品に挟まり横に転倒、左足首を捻挫・骨折した。	28	1 ～ 9
1	15～ 16	林道工事において、伐採した木を搬出作業中に足を滑らせて転倒し、約20m程斜面を転がり落ちた。	77	—
2	12～13	ASガラ置場においてダンプトラック（4t）での荷下ろし中、荷台に引っ掛かったガラを荷台上で除去したところ、ASガラと共に被災者がダンプトラック荷台から滑落し、落ちたガラに左半身が挟まったため負傷した。	65	10 ～ 29
2	11～12	倉庫内において、2tダンプ荷台上で資材の積み込みを行っていた。完了後、荷台（約1.5m）から降りる際、あおりに躓き、腰部から落下した。	69	10 ～ 29
2	10～11	吹付機械のメンテナンス中に、機械上部（2m位）より足を滑らせて転落した。	34	10 ～ 29
		北側エプロン舗装等工事の現場で、被災者（運転手）が10t散水車にてコンクリート		10

2	8~9	舗装に使用する真水を現場に運搬してきて運転席から下りる際に運転席のドアが、突風（現地風速9.5m/s）であおられ急激に開いたため、反動で、運転席から落ちた。	53	~ 29
2	9~10	改良工事（2工区）の工事において、道路付近の切土面に滞水した雨水排除のため、水中ポンプにて水替え作業を行う準備中、昇降ルートでなく通行禁止にしていた法面（盛土上部）を自己の判断で通行し、足を滑らせて転落した。	55	~ 99
3	9~10	足場組立作業中高所作業において、足元の不安定及び安全保護具（安全帯）の不使用のため発生した。足場の3番目（高さ5.4m）の位置で、作業具が幅木を設置する作業を行っていたところ、誤って体勢を崩し、安全帯のフックを固定していなかったため墜落し、とっさに3段目に仮置きしてあった足場の手摺部材につかまったが、手摺とともに下のコンクリートに墜落し、裂傷及び出血した。	24	~ 9
4	11~ 12	大型ダンプの荷台を洗浄するため、車側面のはしごに登っている時、足を滑らせ高さ約2mより落下し負傷した。	60	~ 49
4	7~8	工場敷地内から敷地外にあった空ドラム缶（直径570×高さ875）を足場にしてフェンス（高さ1000）を乗り越えて敷地外に出て、出入口の門扉を開けようとしたところ、空ドラム缶が倒れてバランスを崩し、背中を強打してあばら骨2本を骨折した。	63	~ 29
4	16~ 17	道路工事現場にてトラッククレーンで搬入した鉄筋の荷卸し作業中、トラッククレーンの荷台で作業中本人が高齢であったため、バランスを崩し地面へ転落した。	66	~ 9
4	14~ 15	倉庫で材料の片付をされていて上側の棚で作業中に、下の土間の方へ降りようとハシゴを使い降りる時に左足が滑って1m位の所から落ち、鉄筋で加工した吊荷用具に左腕が当たり、土間コンクリートで左肩を強打した。	62	~ 9
5	16~ 17	本社倉庫内の資材棚にハシゴをかけ、水路工事で使用する塩ビ管の在庫確認作業を行っていた際、塩ビ管の1本を引っ張ったところ、隣に積まれた材木（10~20cm角、長さ1~2m）の一部が崩れ頭部~肩部にぶつかりハシゴ上でバランスを崩し約1.2mの高さから落下し被災した。脳内に異常や出血も見られず、心肺機能にも異常は見られなかったが、右肩部の骨折と診断された。	63	~ 49

5	9～10	勾配のある地山法面で、伐採した樹木の枝打ち作業に移動する時、一部分が急勾配（約40度）になっている所で法面下方に足を滑らして転倒した。その際に、切株の突起物に接触して左肩甲骨を骨折し、そのまま滑落して強く手を着いた際に左手首も骨折した。	65	10～29
5	14～15	側溝工事作業現場で吊荷作業中、吊荷が中心より横ブレを起こし、吊荷に体が押されて掘削してあった90cm下に落下し、左足を骨折した。	46	10～29
5	9～10	林道開設工事のため法面を切土した土砂をパワーショベルで積み込み不整地運搬車に残土を100m位上流側の残土置場に搬出していた。残土を積み込むため残土置場から、パワーショベル付近に向かって上っていたところ、路肩に寄り過ぎたものと思われ、約17m下の谷側に転落した。	66	1～9
5	8～9	会社駐車場で現場に向かう前の朝のトラック点検をしている際、中の点検を終えて外に出ようとした時にステップから右足を踏み外し、左側から地面に落下し、腕を負傷した。	48	10～29
6	14～15	当社敷地内で、ゴミ集積所を作る作業をしていたところ、約5cm程の段差に躓きバランスを崩して、足の足首を強くひねってしまい負傷したものである。	63	50～99
6	9～10	砂防堰堤を整備するための工事用道路工事において、支障木伐採作業後、次の作業箇所へ移動する際、急斜面で、足元が木枝や落葉等により不安定な状況だったため、足を滑らせ転倒し、斜面を3m～4m程転がり落ちた。	32	1～9
6	16～17	ダンプトラックを運転中に左膝に違和感があった。ダンプトラックを降りた際、左膝に痛みがあり歩行が困難な状態になっていた。	63	1～9
7	13～14	除草作業中に、濡れていた草に足を取られ、作業機械ごと5メートル程滑り落ちた	60	30～49
		工事作業現場トンネル上り線内にて、トンネル内監視員道路、中詰作業中約2m先の		1

7	16~17	施工箇所へ移動する際幅17cmの堅壁の上を歩いて移動時にバランスを崩し、トンネルの壁側（ハンドホール）に落下した。その際左腕が堅壁の上部にあり全体重を支えるように接触し被災した。	63	～ 9
7	10~11	町道での作業中、雨水防止のブルーシートを交換するためブルーシートを張っていて、鉄板でない所で4m下に落下した。	63	1 ～ 9
7	13~14	右岸上流側の工事現場で、右岸側斜面の途中にある工事箇所へ向かう際、設置されている仮設安全通路（階段等）を利用せず、斜面を、親綱をつたい降りていたところ、足を滑らせ14m下の谷底へ転落した。	51	30 ～ 49
7	13~14	資材倉庫内の2階から1階へ通じる階段において、機械・資材を確認後階段を下りている時に足を踏み外し被災した。	54	10 ～ 29
7	14~15	倉庫にて、コンクリート用養生マットを片付ける際に、養生マットが単管組（養生マットを干す設備）に引っ掛かり、作業床のない上記単管組をよじ登り、バランスを崩し、高さ1.7m下のコンクリート舗装へ左足より落下した。	42	10 ～ 29
7	11～ 12	現場にてサイロの中に残ったセメントを1トン袋に出す作業中誤ってバランスを崩し、高さ約2.5mから落下し骨折した（ヒビが入った）	70	10 ～ 29
7	14～ 15	防雪柵に絡みついた雑草や蔓等の除草作業中、右足を防雪柵下部（地上高90cm程度）に上に置き、左足を転落防止柵（地上高110cm程度）の上に置きながら作業をしていた。作業を終えて下に降りようとした際に足を滑らせ落下し、右足が防雪柵に接触し負傷した。	24	50 ～ 99
7	9～ 10	U字溝をユニックに積込み時、積込み後に荷台から降りようとしたとき、巻込み防止に足を掛けて降りようとしてバランスを崩し、咄嗟にU字溝を掴んだが、発生材のU字溝だったので、モルタルが付いており、それが剥がれて転落した。転落したときに右足を着いたが、勢い余ってそのまま転倒した。	63	10 ～ 29
		市街地標識設置のため、道路を規制して作業中、資材車から標識板（2.5m×0.6m、		1

7	23～ 24	約30kg) 1枚を作業員2名で取り降ろしにかかったところ、被災者が標識板の中央部にいたため、邪魔になると思い避けようとしてバランスを崩し、道路脇（高低差1.4m）に転落した。	35	～ 9
7	11～ 12	振動ローラーで締固めの作業中、駆動輪が空転したので停止し、近くの人に手伝ってもらおうと思い降りようとしたが、地面が傾斜していたために空走し始めた。レバーが前進に入ったままだと勘違いし、慌ててレバー操作したとき、誤って前進方向に更に進行したため、身の危険を感じて飛び降りたところ、2.2m位の高さから落ちて石足を強打した。	39	1 ～ 9
7	19～ 20	夜間工事の準備中、10t車に載せていたバックホウを点検・確認し、降りようとしたときに足を滑らせ、約2.0m下に転落し、左手首・左臀部・額を打撲した。	53	10 ～ 29
7	13～ 14	現場にて、寒冷紗のたるみを直そうとして鋼管を支えているとき、突風で寒冷紗が煽られ、鋼管が浮き上がり、バランスを崩した。斜面（勾配1.2割程度）から6m程回転しながら転落した。	47	30 ～ 49
7	11～ 12	法面でロープを設置する作業中に、足を滑らせて（想定）、6～7m下の道路に滑落した。当時、ロリップをロープに接続していなかった。	39	1 ～ 9
9	14～ 15	当該運転手がトンネルに差し掛かった際、先方に倒木処理をしていた車輛が2台停車していた。その際、処理中の車輛から声を掛けられて、援助するために当該車輛から降りた。そして、ダンプ運転席ステップに立ち、当該倒木にロープを掛けようとしたところ、足を滑らせ落下、両足で着地したもの。その際の衝撃で両足（踵）を受傷した。	71	10 ～ 29
9	6～7	駐車場でトラック荷台に載せていた積荷の積み替え作業中に、トラックの荷台から降りようとし、車体に足が引っ掛かり転落、右足首を骨折したものである。	49	10 ～ 29
9	12～ 13	昼休憩のため、作業場より戻る際、高さ1.8mの壁を梯子で乗り越していた際に、登り切った所よりバランスを崩し後方へ転落した、転落した際に、尻もちをついた様に落ちたので、衝撃で腰より背中にかけて痛みを訴えていた。	37	10 ～ 29

10	14～ 15	資材置き場において、資材をクレーンで平ボディーに積み込み作業中、吊荷を下している時、荷台フックに躓いて荷台より転落した際（高さ1m）右手首を負傷したものの。	33	～ 9
10	15～ 16	休憩中、土羽の上に板4枚重ねた上に座りお茶を飲んだ時、後ろ向きに転げ落ちた。第3腰椎を骨折した。	56	～ 9
11	9～ 10	竹伐採作業中、法面小段で伐採した竹を法面下段の作業員と搬出作業中、小段の切株に足を引っ掛けて法面下部に転落し負傷したものである。	62	～ 99
11	8～9	現場において、現場の状況を確認していたところ、前日刈り取った水草が水路側面ブロックに置いてあり又朝露でそれが濡れていたため、水草に足を入れた時に滑ってしまい、水路底面に落下（約2m高）してしまった。その際に底面コンクリートで右足踵部分を強打し骨折したものである。	64	～ 9
11	8～9	池の堤体で、作業スペースを確保する為に、バックホーを移動している時に、バランスを崩して、バックホーごと転倒して右手首を骨折及び腰部を圧迫骨折した。	40	～ 9
11	11～ 12	林道改築工事の法面にシートを覆う作業等をしていたが、昼休憩の為林道横に置いてある休憩所まで降りていた時に、足が滑り1.5m位の高さより滑落し負傷した。	55	～ 29
11	9～ 10	坑門背面埋戻し工事の施工管理のため、盛土材を巻き出した段差（H=30cm一層）箇所を移動する際、段差に足を滑らせて転倒し、不自然に着地した右足首に全体重がかかり負傷する。＜原因＞・盛土材を巻き出した段差（H=300）急勾配・被災者の意識が慌てていて、考え事をしていて、不注意。	47	～ 9
12	11～12	当会社内資材置場で、人の手では届かない為、6尺の脚立を使用して、鉄筋で溶接したフックに物を吊り上げる為の鉄バサミを掛け様としていた時、床面が凍結していた為か動いた時に脚立のバランスを崩し、60cm位の高さから転倒し、その時、左足すねと左腰を打撲した。	37	～ 29

12	15~16	屋外バスケットコートで塗装作業中、脚立に上った際に足元が滑り、脚立ごと転倒して左手首を骨折した。当日は時折雪が降っており、滑りやすい状況であった。	44	1 ~ 9
12	8~9	道路災害復旧工事の現場で、天端調整コンクリートの打設作業を3.5tのバックホーで、0.1?のコンクリートホッパーを吊り下げ、右前方の生コン車から左後方の投入箇所へ旋回打設中、コンクリートホッパーが機体の真横に来た辺りでバランスを崩し、被災者は5.5m下の仮設作業道に、バックホーは更に約20m下に転落した。	59	10 ~ 29

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html